

平成20年7月31日発

「第3回特別支援教育公開講座」を開催



7月30日（水曜日）、文化体育館小ホールで「第3回特別支援教育公開講座」（主催：教育委員会）が開催され、町内外から、保護者などの地域住民や学校・園の教職員など約150人が参加しました。

この講座は、①発達障がいや特別支援教育への理解を深めること、②学校・園や地域・家庭で子どもたち一人一人に応じた支援ができるようになること、この2つをねらいとして開かれたものです。

今回は、大阪大谷大学教育福祉学部准教授の小田浩伸さんを講師として、映画「アイムヒア 僕はここにいる」の上映と、「発達障害の理解と支援～自立と社会参加のために」と題しての講演が行われました。

小田さんは、大阪府立特別支援学校の教員、大阪府教育センターの指導主事を経て、現在大阪大谷大学で、障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の方法を、指導されています。また、今回上映された「アイムヒア 僕はここにいる」の監修、出演もされ



ています。

「アイムヒア 僕はここにいる」は、学校や職場で理解されず、子どものときからつらい思いをしてきた青年が、自分の特性を知り、周囲の理解と支援を得て、希望を持って歩み始める姿を描いた映画です。また講演では、豊富な具体例を基にして、特性をどうとらえ、どう支援していくのかを、わかりやすくお話いただきました。参加者は発達障害の疑似体験により、発達障害の人たちがどのような気持ちになっているのかにも思いをはせることができました。



参加者からは、「周囲の理解の大切さや、自分のことを知り、相手に伝えることの大切さがわかった。」「子どもの立場からの見方がわかりやすく、納得できた。自分の固い頭を変えていきたい。」「具体的な対応を教えていただき、挑戦してみようという気持ちを持てた。」「もっともっとお話が聞きたかった。」などの声が寄せられました。

せられました。

▲映画「アイムヒア 僕はここにいる」より

